

ろうさい ニュース

令和5年

3月号

第463号

当院に患者さんをご紹介くださっている先生方には、感謝申し上げます。

地域の皆様からの信頼に応え続けるために「アットホームなハイクラスの病院」を理念に取り組んでいます。



院長退職のごあいさつ

浜松ろうさい病院 院長 鈴木 茂彦

3月末をもって院長を定年退職いたします。着任後医療界は激動の5年間でしたが、皆さまのご支援のおかげで何とか無事勤めることができましたこと心より感謝申し上げます。

2018年4月の着任以来、救急医療重視路線の継続、診療科の新設や体制強化、ホームページのリニューアルや病院・診療科紹介冊子「Medical Information」の発行など広報・病診連携活動の拡充に努めました。新型コロナウイルス感染症が広がってからはコロナ診療に対応しつつ一般診療の維持にも努めました。おかげさまで何とか毎年診療実績を上昇させることができました。

残念だったことはやはり新型コロナウイルス感染症の拡がりです。市民公開講座の定期開催や拡大病診連携懇談会などの新機軸を中断せざるを得なくなりました。また2020年12月にアクトシティ浜松で開催予定だった第68回日本職業・災害医学会学術大会も誌上開催に変えざるを得なくなり、地域の皆様にも加わっていただき計画した複数のシンポジウムの会場でのディスカッションが叶いませんでした。さらに辛かったのは新型コロナウイルス感染症入院患者が急増するたびに一般救急患者さんのお断り事例が生じたことです。



ようやく新型コロナウイルス感染症第8波は収束しそうです。コロナ禍で中断していた地域の皆様との交流再開を江川裕人次期院長に託したいと考えています。お力添えのほどお願い申し上げます。

— 私の形成外科診療継続のお知らせ —

私は1978年から2年半初代形成外科常勤医として勤務していましたが、院長着任後外来診療を再開すると私が戻ってきたことを知った複数の患者さんが40年ぶりに受診して下さったことは感激でした。院長退職後も非常勤で形成外科診療を続け福原部長をバックアップし、私の形成外科人生で得た知識と技術を少しでも返していきたいと思っています。外来診療日は木曜日午前ですのでよろしくお願い申し上げます。

診療科の紹介

呼吸器内科

院長補佐 兼

呼吸器内科部長 豊嶋 幹生

慢性咳嗽の診断と治療

3週間以上持続する咳嗽を遷延性咳嗽、8週間以上時持続する咳嗽を慢性咳嗽と定義します。

それらの原因として最も多いのが咳喘息であり、2番目がGERD、3番目が副鼻腔気管支症候群となります。また、複数の原因による遷延性/慢性咳嗽も多く、組み合わせとしては、咳喘息とGERDの合併が最も多いと報告されています。したがって、遷延性/慢性咳嗽の治療においてはこれらを鑑別診断し、各疾患に対して適切な治療を行うことが重要です。咳喘息は、喘鳴を伴わない咳嗽が8週間以上持続し、 $\beta 2$ 刺激薬などの気管支拡張薬で症状が改善することが、診断基準とされています。咳症状には、季節性や日差があり、夜間から早朝に多いことも参考になります。検査所見としては、末梢血好酸球増加、呼気NO高値を認めます。治療は重症度に応じて、吸入ステロイド単剤から長時間作動型 $\beta 2$ 刺激薬・長時間作動型抗コリン薬の配合剤や抗ロイコトリエン受容体拮抗薬の併用などによって行われます。GERDによる慢性咳嗽は、胸やけ、呑酸、咳払い、嗝声、咽喉頭異常感を伴っていることで疑い、GERDに対する治療（PPI、消化管運動改善薬、肥満・食生活の改善）にて咳嗽が改善することで診断します。ただし、重要なことは、典型的なGERD症状を伴っておらず、GERDの上部消化管内視鏡所見に乏しく、PPIで十分な治療効果が得られない症例も存在します。このような症例は、酸逆流よりも胃内容物の逆流による物理的刺激が咳嗽の原因となっており、消化管運動改善薬や食生活の改善（ゆっくり食べる。過食を避け腹7~8割程度にする。食事後、すぐ横にならない。）によって改善します。上述のごとく、複数の原因による遷延性/慢性咳嗽

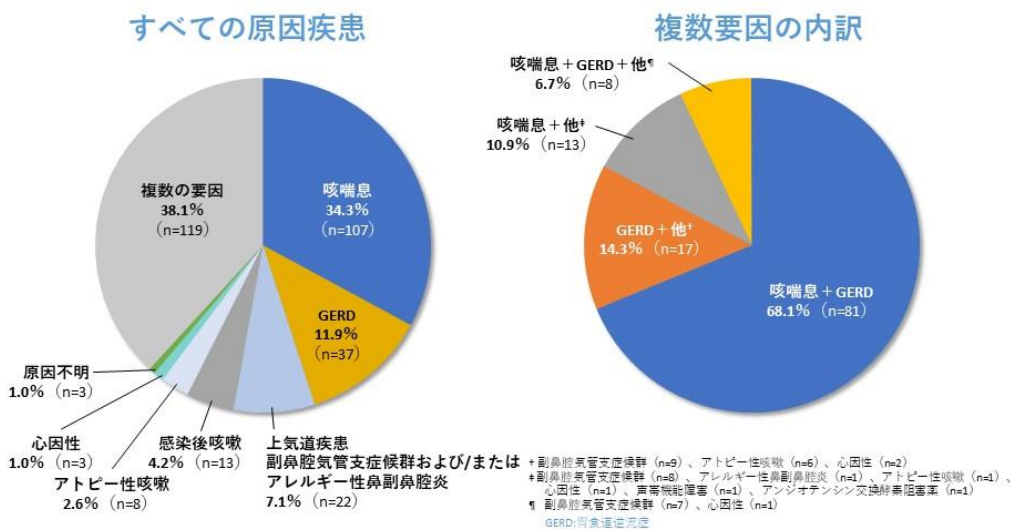


では、咳喘息と GERD の合併が最も多く、特に咳喘息の治療で夜間の咳嗽が改善しても昼間の咳嗽が残存する場合には GERD の合併を疑うことが重要です。

副鼻腔気管支症候群による咳嗽は、8 週間以上続く呼吸困難発作を伴わない湿性咳嗽、後鼻漏、鼻汁、咳払いなどの副鼻腔炎様症状、敷石状所見を含む口腔鼻咽頭における粘液性あるいは粘膿性の分泌液、副鼻腔炎を示唆する画像所見（副鼻腔 X 線・副鼻腔 CT）、14・15 員環系マクロライド系抗菌薬や喀痰調整薬による治療が有効であることによって診断されます。治療は 14・15 員環系マクロライド系抗菌薬や喀痰調整薬の長期投与になります。

最後に、Unexplained chronic cough (UCC) と Cough hypersensitivity syndrome (CHS) について説明します。「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2019」では、「新たな概念」のひとつに「難治性咳嗽」が提示され、UCC 及び CHS についての説明、定義が記載されています。UCC は、原因疾患が明らかでなく、empiric therapy を含む十分な治療によっても持続する慢性咳嗽、CHS は低レベルの温度・機械的・化学的刺激を契機に生じる難治性の咳を呈する臨床的症候群と記載されていますが、診断基準や手順が確立されていないといった問題もあります。昨年より、これらの難治性咳嗽に対して、P2X3 拮抗薬であるゲーファピキサントが保険承認されました。細胞外 ATP と P2X3 受容体の結合を阻害することで、C 線維の活性化を抑え、咳嗽が抑制されると考えられています。確かに、小生もいかなる既存の治療によっても咳嗽が改善しない症例を数名経験しており、同薬剤によって完全ではないものの咳嗽が改善した症例も存在します。副作用として、高率に味覚障害が発生し、中止すれば、改善しますが、そのために内服継続困難である症例も少なくありません。以上の事項が、皆様の慢性咳嗽の診療に御役に立てれば幸いです。今後ともよろしく御願い申し上げます。

遷延性／慢性咳嗽の原因疾患及び併存疾患



方法 2012年4月～2018年3月までに名古屋市立大学病院を受診した咳嗽が3週間以上継続する遷延性/慢性咳嗽患者312例を単独原因群 (190例)、複数原因群 (119例) に層別し (残りの3例は原因不明)、患者背景を比較検討した。また、遷延性/慢性咳嗽の単独原因及び複数原因の内訳を検討した。

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)	(午前)	(午後)
総合内科	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシタツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	ヒガシタツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシタツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシタツ ヒロアキ 東辻 宏明	—	イワモト タツシ 岩本 達治 ヒガシタツ ヒロアキ 東辻 宏明	—
腎臓内科 (外来10:00~)	オオタ タカユキ 太田 孝行(非)	—	—	—	オオタ タカユキ 太田 孝行(非)	—	—	—	シダ リュウタロウ 志田龍太郎(非)	—
内分泌代謝内科	—	—	ナカムラ トシヒロ 中村 聡宏(非) ※予約のみ	—	—	—	—	—	—	—
リマチ・膠原病科	—	—	—	—	—	—	—	ゴトウ ヨシノリ 後藤 吉博(非)	—	—
精神神経科	—	—	—	—	—	—	—	—	スギモト ヨウコ 杉本 洋子(非) ※予約のみ	—
呼吸器内科	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約初診・再診 カミヤ ヨウスケ 神谷 陽輔 ※初診	—	コウダ ケイ 幸田 敬悟 ※初診・再診	—	サトウ マサキ 佐藤 雅樹(非)	—	トヨシマ ミキオ 豊嶋 幹生 ※予約初診・再診 コウダ ケイ 幸田 敬悟 ※初診	—	カミヤ ヨウスケ 神谷 陽輔 ※初診・再診	—
呼吸器外科	—	—	—	—	—	フナイ カズヒト 船井 和仁(非) (第2・4週)	—	—	—	—
肝臓内科	—	—	—	—	—	—	—	モリシタ ムネオ 森下 奈自	—	—
血液内科	—	—	タケシタ アキヒロ 竹下 明裕(非)	—	—	—	—	—	—	—
消化器内科	外来	オオタ ユウジ 大田 悠司 マツウラ アイ 松浦 愛	—	タニ シンヤ 谷 伸也(非)	—	スギウラ キイチ 杉浦 喜一(非)	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑	—	タカノ リョウスケ 高野 亮佑 マスダ トモノリ 益田 朋典
	※カメラは 完全予約制	IBD外来	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	ハナイ ヒロユキ 花井 洋行	—
	胃カメラ	高野・益田	—	松浦・益田	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—	松浦・森下
大腸カメラ	—	益田・谷(非)	—	高野・益田・小出	—	大田・高野	—	昭和大(非)	—	大田・松浦
循環器内科	ハットリ リュウイチ 服部 隆一(非) (交代制) (常勤医)	—	ハットリ リュウイチ 服部 隆一(非) タカハシ マサアキ 高橋 正明(非)	—	カワモト アキラ 河本 章 イマナカ ミヤコ 今中 雅子(非)	—	シノダ エイツ 篠田 英二	—	ヤマダ ミホ 山田 美保	—
神経内科	—	—	藤田(非)・孝輔(非) (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
小児科	—	—	非常勤医師 (交代制)	—	—	—	—	—	—	—
外科	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹 (交代制)	—	スミダ ヒトシ 隅田 仁 (交代制)	—	テラタニ ナオキ 寺谷 直樹 ナカムラ シュンスケ 中村 俊介	—	イノウエ ハルタカ 井上 立崇 (交代制)	—	イノウエ ケンタ 井ノ口 健太 (交代制)	—
乳腺外科	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	—	—	—	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一	カガノイ シュンイチ 加賀野井純一
整形外科	初診	ナカヤマ ケン 中山 憲 ※予約のみ	—	コウモト マサアキ 河本 正昭	—	イシカワ トモミ 石川 朋美	—	タバ ツヨシ 田場 健	—	ウケタ タケヒロ 藤田 雄大
	再診	タバ ツヨシ 田場 健	—	ナカヤマ ケン 中山 憲 ウケタ タケヒロ 藤田 雄大	—	偶数週 中山 憲 コウモト マサアキ 河本 正昭 ※予約のみ	—	コウモト マサアキ 河本 正昭	—	イシカワ トモミ 石川 朋美
形成外科	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 カキヌマ ショウタ 柿沼 翔太(非)	—	—	—	—	フクハラ サダコ 福原 定子	—	フクハラ サダコ 福原 定子 ウタセ ワカ リキマル ツバサ 力丸 翼(非)
院長外来(形成外科)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
脳神経外科	タケチ コウタロウ 田口 幸太郎 モリシマ タカフミ 森脇 孝文	—	タケチ コウタロウ 田口 幸太郎 モリシマ タカフミ 森脇 孝文	—	タケチ コウタロウ 田口 幸太郎 竹中 俊介 非常勤医師 (第2・4週)	—	タケチ コウタロウ 田口 幸太郎 初診のみ 非常勤医師 (第2・4週)	—	タケチ コウタロウ 田口 幸太郎	—
心臓血管外科	ツマル シンイチ 津丸 真一	—	—	—	ニシハラ シュンイチ 西澤 純一郎	—	—	—	シマモト タケシ 島本 健	—
皮膚科	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	ホンダ テツヤ 本田 哲也(非) (月1回・予約のみ)	フナイ ナオコ 船井 尚子	—	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	フナイ ナオコ 船井 尚子	—
泌尿器科	シミズ コウスケ 清水 浩介 モロイ セイシ 榎井 誠司	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢 コホリ ゴウ 小堀 康	—	清水(1・3・5週) 荒木(2・4週) モロイ セイシ 榎井 誠司	—	シミズ コウスケ 清水 浩介 コホリ ゴウ 小堀 康	—	アラキ ヒロマサ 荒木 博賢	—
婦人科	オザワ ヒデチカ 小澤 英絵	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英絵	—	オザワ ヒデチカ 小澤 英絵	—	ミヤケ ワカバ 三宅 若葉(非)	—	アサヒナ トシヒロ 朝比奈俊彦(非)	—
眼科	トリエ カオルコ 鹿尾 薫子(非)	—	—	—	—	—	—	—	—	イウキ タカユキ 岩城 孝行(非) ナガセ ヤスフミ 永瀬 康規(非)
耳鼻咽喉科	—	—	タニガキ コウキ 谷上 田廣 (非)	—	—	—	—	—	—	—
放射線科(診断)	—	—	—	—	ヤマシタ シュウヘイ 山下 修平					
放射線科(治療)	—	—	—	—	—	名市大(非)	—	—	—	名市大(非)
リハビリテーション科	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 ※予約のみ	—	スギヤマ ヒロユキ 杉山 宏行	—	杉山 宏行 ※2週休診	—

●青字は医師交替、赤字は診療時間の追加・変更部分になります。●(非)は非常勤医師となります。

■専門外来(特殊外来)

診療科	外来名	診療日	診療時間	備考	診療科	外来名	診療日	診療時間	備考
呼吸器内科	AST外来	月・木曜日	15:30~17:00	予約制	心臓血管外科	静脈瘤外来	月曜日	8:30~11:00	—
リウマチ・膠原病科	リマチ・膠原病科	木曜日	13:30~17:00	予約制	泌尿器科	尿路結石外来	月・水曜日	13:30~16:00	予約制
循環器内科	A-スモール外来	金曜日	13:00~	予約制	リハビリテーション科	義肢装具外来	火曜日	8:30~11:00	予約制
	不整脈外来	金曜日	10:00~	予約制	健康診断部	—	月~金曜日	8:30~11:00	予約制
形成外科	小児形成外来	火曜日	9:00~11:00	—					
形成外科	言語外来	第2・4金曜日	13:00~17:00	予約制					
整形外科	手外科専門外来	不定期水曜日	14:00~16:00	予約制					

独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 地域医療連携室
 受付時間 電話 053-411-0366 fax 053-411-0315
 紹介患者の予約受付 月~金 8:15~18:00 土 9:00~12:00

